



はわいっこ

平成 28 年 11 月 17 日(木) 発行

3 年生 復興への『希望の環』～ドングリでつなぐ森林づくり～

11月15日(火)に、ニッセイ緑の財団の井本さん、今井さんに東京から来ていただき、3年生がドングリ学校の取組を行いました。これは、今の4年生も一年前に取り組んでいます。東北大地震で被災した宮城県にドングリから育てた苗木を送り、森林を作ろうというプロジェクトです。まず、被災地の状況についての説明を聞き、被災地に対する理解と、ドングリを育てる意味について学びました。大きな津波で街並みが一変し、みどりがなくなってしまったこと。だからこそ、みどりの木々が必要なんだということが理解できました。その後、準備した牛乳パックの中に財団から送っていただいた土を入れ、そこにクヌギとコナラのドングリを入れて牛乳パック苗をつくりました。みんなが楽しそうに、はりきって取り組むことができました。財団の方から、「真剣に話を聞いてくれたし、元気よく苗木作りをしてくれたのでうれしかったです。」と、おっしゃっていただきました。これから一年半をかけて、水やりなどの世話をして苗木を育てていきます。しっかりとした大きな苗木となり、東北の地で森林となることで、復興へとつながっていくことを願いたいものです。



エコアイデアコンテスト2016 エコトリピー賞の授与式



11月15日(火) 昼休憩に、校長室でエコアイデアコンテスト2016のエコトリピー賞授与式を行いました。これはすでに全校朝会で表彰しましたが、エコアイデアコンテストの審査で、中部地区で最も点数が高かった1点に鳥取県知事賞であるエコトリピー賞が表彰されるものです。工作下学年の部で最優秀賞をいただいた3年中川大空さんの作品に対して賞状が授与されました。生活環境局の局長さんは、「審査の時から、目を引くものがあった。」と話しておられました。この日は鳥取県のマスコットキャラクターであるトリピーと、3年3組のみなさんにも校長室に駆け付けてもらいました。最後にはトリピーと一緒に記念撮影もしました。このようなコンテストを通じて、物を大切にする気持ちを育んでいきたいと思います。